

## 初等部2年 畑の発表会 「雨と太陽と大根と私たち」

鈴見 麻衣

2年生は2学期に大根を栽培する。畑の発表会では、2年生の畑と、畑の発表に向けての学習を年表にまとめたもの、子どもたちの畑に関する詩やスケッチ、調べ学習でまとめた新聞やクイズ、大根が主役の紙芝居や物語、美術作品を展示した。また、舞台での発表では、大根が育つ過程を「言葉での説明」「4つの歌」「劇」で報告をした。

### I. はじめに

2年生は学級人数が多いながらも、個性・主張が強く、活気溢れる組である。畑の発表に向けて、このような2年生と「畑・大根」というテーマをどう結び付けようかと考えた際、「子どもたちを無理にひとまとめにするのではなく、一人ひとりの自主性・得意を活かすこと」、「学校で学ぶ意義を考え、「みんな」で一つのものを作る達成感を得られること」の二つを、学びの軸とすることにした。

### II. 報告会までの学習

#### 1. 大根の栽培

秋蒔きの場合、なるべく早く蒔くことが大切と聞いていたため、二学期始業式の日に種蒔きをした。発芽後は順調に育ち、1回目の間引き菜は教室で味見をした。その後は2回の間引き、こまめに草取りをするよう心掛けた。大家族一畝を担当させ、「みんなの畝」には、聖護院大根、大蔵大根、青丸紅芯大根も栽培した。

#### 2. スケッチ

4種類の大根とも、種・双葉・本葉・間引いたときの根の様子などを頻りにスケッチした。成長の過程で気づいたことや、根や葉の長さも一緒にメモをして残した。多い人は収穫までに10回ほどスケッチをし、各スケッチで「特にどこを見るのか」を指導して描かせた結果、子どもたちに「よく見る」力がつき、最後の収穫した大根のスケッチでは、全員が大変な力作を残すことができた。

#### 3. 音読のおさらい・作詩

2学期から畑の活動に関する作詩を始めた。また、子どもの作詩の助けになるように、毎日のおさらい

や教室で、詩の音読を始めた。音読する詩は、種蒔きの時には種に関する詩にするなど、その都度の畑や四季に合うものにするよう心掛けた。

作詩は、種蒔きや土のこと、味見をした間引き菜のこと、大根が育って雨に濡れている様子などをテーマに取り組んだ。音読と作詩を一緒に進めることで、子どもの詩の表現がどんどんと豊かになり、最初は何も書けなかった人も、だんだんと書くようになったのは嬉しい成長だった。

#### 4. 入試説明会の歌の発表の成功

人数が多く、声がよく出る組のため、9月中旬の入試説明会で、お客様に合唱を披露することになった。音楽科の佐藤先生と堀内先生のご尽力もあり、お客様をはじめ、教師からもお褒めの言葉を頂き、子どもたちにも自信となる経験になった。そこで、「組の得意を活かす」という軸とも重なり、畑の発表会でも歌を取り入れようと考えた。

### III. 報告会への準備

#### 1. 畑の発表で何をやりたいか

体操会後に、畑の発表がどのような行事か、組として何をしたいかの話し合いを始めた。まず「何をしたいか」又は「どんな力を出したいか」を付箋に書かせたところ、「劇をしたい」「大根について調べたい」「声を出すのが得意だから、みんなの前で報告をしたい」などの声があがった。バラバラのやりたいことを全て叶えるのは難しかったが、子どもたちの自主性を最大限尊重できるように、①お話作りグループ…大根が出てくる物語を創作し、発表をする、②研究グループ…大根について調べてまとめる、③劇グループ…大根が育つ過程を劇にして発表する、の3つの学習グループを作ることにした。

## 2. グループ分け

各学習グループについて説明し、どのグループで学びたいかを決めた。その際、友達がどこに入るかに左右されず、自分が本当にやりたいことを優先させてほしいという思いから、「〇〇グループに入りたい。理由は～」という作文を書かせ、迷っている人とは一人ひとり話をした。中には、「人前で声を出すのが苦手。だからこそ劇グループで挑戦したい。」という人もいて、全員が前向きに学習グループを決めることができた。

## 3. グループでの活動

### (1) お話作りグループ…5人

まず大根が登場する絵本を教室でいくつか読み聞かせをし、創作のイメージを膨らませた。また、2年の国語科で「お話のつづきを書こう」「絵を見てお話を書こう」という単元があり、子どもたちはプリントを使って物語を創作する経験があったので、一人一作品、大根が主人公のお話を作った。

その後、グループでお話を読み合い、紙芝居にまとめた作品を2つ選んで、2人と3人に分かれて紙芝居を作った。絵を描く作業では、美術科の瀬尾先生と山下先生にもご指導を頂いた。

畑の発表会では、一人ずつの作品を展示し、紙芝居は当日に2回、発表をした。紙芝居の告知ポスターも子どもたちが制作した。

### (2) 研究グループ…19人

まず、大根について知りたいこと、わからないことなどを付箋に書き出し、「料理」「種類」「世界の大根」などのジャンル分けし、調べることリストを作った。

次に、大根の図書資料を使って調べ学習を始め、調べた内容は「研究メモ」にまとめた。その際、目次や索引の使い方を指導した。

最後に研究メモを参考に、一人ずつ新聞にまとめた。子どもたちは初めて新聞を作ったが、3年生が作った新聞をお借りし、新聞とはどのようなものかを指導した上で書き始めた。また、クイズを作成した人もいた。

当日は全員の新聞を展示し、全員が交代でブースに立ち、お客様に自分が調べたことを説明した。

### (3) 劇グループ…11人

まず、「落ちた落ちた」「達磨さんが転んだ」などの表現遊びに多く取り組んだ。毎回、表現遊び→大根の観察・身体を使って表現するという流れで授業をした。土の中を想像してミミズになったり、自分はどうな大根か自己紹介をするなど、大根の育ちにまつわるイメージを豊かにし、身体で表現できるようにした。その際、子どもたち同士で見合い、良い点を伝え合うこと、より良くするためのアイデアを出し合うことを大切にした。

畑の発表では、大根の種蒔き、発芽、葉の成長、収穫の4つのシーンを、それぞれ歌に合わせて表現をし、舞台上で披露した。

## 4. 発表に向けて、教師の助け

子どもたちが作った詩のフレーズをつなげて、「たねまきソング」「まびきなソング」「大根と雨」「収穫のうた」の4曲を作詩・メロディーの作曲をした。伴奏は音楽科の佐藤翠先生に作っていただき、当日も演奏をしていただいた。

また、子どもたちの気付きや収穫量、学習の流れなどの情報をまとめ、舞台上で報告する文章をまとめた。

### 2年生の展示（小ホール）





#### 5. 発表に向けて、教師の助け

子どもたちが作った詩のフレーズをつなげて、「たねまきソング」「まびきなソング」「大根と雨」「収穫のうた」の4曲を作詩・メロディーの作曲をした。伴奏は音楽科の佐藤翠先生に作っていただき、当日も演奏をしていただいた。

また、子どもたちの気付きや収穫量、学習の流れなどの情報をまとめ、舞台上で報告する文章をまとめた。

#### 2年生の報告



#### IV. 報告会を終えて

##### 1. 子どもの日記より抜粋

今日は畑の発表の本番でした。…1年生が終わって2年生の番になりました。(大丈夫かな。つかかかったり、大根の葉っぱが落ちないかな。)とずっと思っていました。…いよいよぼくの番になりました。ぼくが言い始めました。思ったより良い声が出て嬉しかったです。昨日より歌も良い声が出て嬉しかったです。…終わって生活整理の時、黒板一杯の

花丸をもらえて嬉しかったです。(男子)

…次に十時三十分ごろに小ホールで2年生のかざられているものを説明しました。私はお父さんがいたのでお父さんに説明しました。色々説明が多かったので大変でした。…畑の発表会が嬉しかったです。(女子)

#### 2. 組の成長

組の成長は大きく分けて二つある。第一に、各学習グループで、得意・やる気を活かした活動ができ、その分野について子どもたちが自信を持てたことである。例えば研究グループは、2年生でどこまで調べ学習ができるか不安があったが、子どもがやる気を持って始めたことということもあり、図書資料から自分に必要な情報を得ること、それを新聞という形にしてわかりやすくまとめること共に、予想を遙かに上回る出来栄であった。また、その後国語科で調べ学習を行ったところ、研究グループの子どもたちの主導でスムーズに学習を進めることが出来た。

第二に、全員で舞台の報告を成功させられたということである。子どもの日記やアンケートには、舞台での報告についての感想が多く書かれており、大勢のお客様の前で声を出すことや劇で身体で表現することは、勇気がいり、達成感があったということが伝わってきた。組として、“みんな”での学習に達成感を持てたことは、これから卒業まで一緒に過ごす上でも、学校で学ぶ意義を考えても大切なことであり、成長した点といえると思う。

#### VI. 参考文献

「にんじん だいこん ごぼう」

植垣歩子 福音館書店

「月刊たくさんのふしぎ 222号」「大根はエライ」

2003年9月1日発行 福音館書店

「ダイコンの絵本」 佐々木寿 編 土橋とし子 絵  
社団法人 農山漁村文化協会

「育てよう！食べよう！野菜づくりの本5 根や茎を食べる野菜 だいこん・にんじん・たまねぎ」  
小菅知三 監修 こどもくらぶ 編・著  
坂井宏先 発行